

# 運輸安全マネジメント実施概要

2024年度（2024.04.01～2025.03.31）

## 1. 輸送の安全に関する基本的な方針

### 『輸送の安全の確保が最も重要である』

”輸送の安全の確保”が事業経営の根幹であることを深く認識し、事業において、”輸送の安全の確保”が最も重要であるという意識を全社員に徹底させ、**会社一丸となり取り組むとともに、絶えず輸送の安全性の向上を図る。**

### 『安全は全てに優先する』

私たちは事故「0」（ゼロ）を実現するために、全社員が最善の努力する事を宣言する。

## 2. 輸送の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

別表「運輸安全マネジメント組織図」により指揮命令を実施

## 3. 輸送の安全に関する重点施策

- ・事故防止に向け、個々の安全に対する意識改革と運行管理の徹底！！
- ・飲酒運転、あおり運転、絶対「しない・させない」会社一丸で撲滅！！
- ・車間距離の保持・後進・巻き込み安全確認の強化で、3大事故（追突・接触・後突）撲滅！！
- ・デジタルタコグラフ・ドライブレコーダー・KYT等、事例を活用した安全意識向上の推進
- ・安全運行に向けた車輛整備の強化（3ヶ月点検・車検、不備事項適時改善、タイヤ脱着作業 等）

### ～愛の五つの誓い～

- |             |                                 |
|-------------|---------------------------------|
| 一、私は自分を愛します | ～だから、事故は絶対に起こしません。              |
| 二、私は仕事を愛します | ～だから、事業所の名誉を傷つけるような無謀運転は絶対しません。 |
| 三、私は家庭を愛します | ～だから、家庭を破壊するような無理な運転は絶対しません。    |
| 四、私は車を愛します  | ～だから、一日一回 日常点検整備を励行します。         |
| 五、私は社会を愛します | ～だから、暴走・飲酒運転は絶対しません。            |

## 4. 輸送の安全に関する計画

- ・デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを活用した乗務員安全指導の実施
- ・乗務員とのチョットした「一言コミュニケーション」「情報共有」の実施
- ・事故ゼロ運動の実施  
事故ゼロ重点日：毎月1日、重点週間：毎月第3週、重点月間：5月・8月・11月・2月
- ・車間距離「0・1・0・2」運動の推進と後進・右左折時における安全確認の実施
- ・全国交通安全運動の実施（春・秋）、並びに、年末年始輸送安全総点検の実施
- ・安全運転への意識向上に向けたナスバネットの定期適正診断の実施

## 5. 輸送の安全に関する予算等の実績台数

- ・安全機器導入（デジタルタコグラフ・ドライブレコーダー）⇒全車導入済み
- ・定期点検、法令車検の期限内実施 ⇒全車期限内実施済み
- ・タイヤ交換・定期的なタイヤ振替の実施 ⇒全車実施済み
- ・車輛整備強化に伴うマルチサーブの導入、定期実施 ⇒導入・実施済み
- ・ナスバネットの導入による適性診断の実施 ⇒導入・実施済み

## 6. 輸送の安全に関する教育及び研修の計画

### (1)乗務員研修

- ・事故防止教育、特定運転者研修（初任・高齢・事故惹起）、事故事例等の共有実施（毎月）
- ・運転KYT、荷作業KYTの実施（年3回）と、ヒヤリハット活動による事故防止の実施
- ・健康診断の受診（年1回・深夜対象者 年2回受診）
- ・ナスバネットによる適性診断の実施（2年に1回）
- ・運転記録証明（5年分）、SDカード取得による事故防止・違反への意識付けの実施

### (2)管理者研修

- ・トラック協会、関係省庁主催の管理者向け研修会への参画
- ・輸送の安全に関する外部研修会への参画

## 7. 輸送の安全に関する目標及び達成状況（2023年度・2024年度）

	目 標	目標達成結果・状況
2023年度	事故「0」の必達 車輻事故・商品事故・輸送クレーム	車輻事故 6件 ⇒ 未達成 (自損 4件・物損事故 0件・人身事故 0件・被害事故 2件) 商品事故 5件 ⇒ 未達成 輸送クレーム 2件 ⇒ 未達成
	飲酒運転・速度超過・あおり運転の撲滅	アルコールチェック違反 0件 ⇒ 目標達成 速度超過取締り 0件 ⇒ 目標達成 あおり運転 0件 ⇒ 目標達成
	健康診断の受診率 100% 健康診断結果に基づくフォローの実施	健康診断の受診率 100% ⇒ 目標達成 結果に基づくフォローの実施 ⇒ 目標達成
	車両整備の実施強化	規定値内での整備強化 ⇒ 計画的に実施 (オイル交換 25,000km・タイヤ振替 20,000km)
	社内安全運転評価 「A」評価の全員取得	社内安全運転評価「A」評価 ⇒ 全員達成 (180点以上 17名(内190点以上 16名))
2024年度	①安全優先考動の実施による車輻事故・商品事故・輸送クレーム「0」の必達 ②飲酒運転・速度超過・あおり運転の撲滅 ③健康診断の受診率100%と健康診断結果に基づくフォローの実施 ④車両整備(日常点検・オイル交換・タイヤ振替・洗車)の実施強化 ⑤社内安全運転評価「A」評価を乗務員全員取得	

## 8. 自動車事故報告規則第2条に規定する事故統計

2023年度						
事故種類	横転	転落	火災	踏切	重傷	車輻事故
件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件

自動車事故報告規則第2条に該当する事故の発生なし

## 9. 事故・災害時等に関する報告連絡体制

別表「事故・災害等連絡体制図」により報告体制を構築

## 10. 2023年度発生事故に関する情報

乗務員の車間距離確保や適正速度での走行など意識向上により、人身事故等の相手がいる事故が0件となったが、後進時など後ろに気を取られ右前側等の死角での接触事故など、自損・物損事故を4件発生させてしまった。後進時に後ろに気を取られ、右前側の注意欠慮と走行する道幅などの過信による事故となっている。

## 11. 2024年度 事故防止に向けた具体的実施策：安全優先考動

### 【心構え】

- 一、業務に取り組む心構えとして、深呼吸を行い、気持ちが落ち着いた状態で取り組む
- 一、“丁寧な言葉遣い” “メリハリある行動” で、対外関係を友好にする
- 一、会社・一緒に働く仲間・家族を大切に、傷つく言動・行動をしない
- 一、仕事に対して、『感謝』して『謙虚』な姿勢で『誠実』に取り組む
- 一、「整理」「整頓」「清掃」の3Sを実施し、仕事のパートナーである車両を大事にする

### 【運転業務】

- 一、出勤・退勤時のアルコールチェックを100%実施し、飲酒運転を行わない自己管理に取り組む
- 一、車間距離確保「0・1・0・2」運転の実施による追突事故防止・危険回避に取り組む
- 一、ハンドルを握ったら、「ながら」運転を行わず、運転に集中し、周りの状況に注視する
- 一、他者からみて“あおる”行為(車間詰め・幅寄せ・過度な速度変化等)を絶対にしない
- 一、車線変更時は、早めにウインカーを上げ、周囲の状況を確認して余裕をもって実施する
- 一、法定速度の順守と路面・天候に応じた車間距離の保持を実施し、安全運転で業務に取り組む

### 【荷役作業業務】

- 一、フォークリフト作業では、進行方向・周囲の安全確認の徹底し、二重動作をせずに正確に操作する
- 一、荷物の積み方・養生に配慮し、輸送・作業中における荷崩れ・転落等の破損防止に努める

鈴木運送株式会社 本社営業所  
代表取締役社長 鈴木 克昭